

神奈川県議会議員

## おざわ良央よしなか

発行：おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市萩窪 166  
☎0465-35-0001 📠0465-35-4666 🌐ozawayoshinaka.com



# 未来への責任を果たす!

3期目当選後8ヶ月余りが経過。おざわ良央議員は、県議会『防災警察常任委員会 委員長』という大役を仰せつかり、そのほか、自民党県議団、自民党県支部連合会を始め多様な場所で責任を持つ中堅議員として、精力的に活動する日々を送っております。このような基盤をおつくりいただいた、後援会を始め、地域の皆様への“未来への責任を果たす!”との約束を実行すべく、神奈川県、県西地域、小田原市のハード、ソフトさまざまな課題や事業に全力で取り組んでおります。

内外共に変化の時代です。私たちの周囲に目を転じれば、県政全般は勿論、地域社会でも新たな課題が見えてきて、真剣に世の中や人々を守り、新しい時代を創る気概を持った政治家が必要です。人口減少社会の中で、政治はどうあるべきか、人々は何を求めるのか、高齢者福祉、少子化対策、環境問題を始め、教育、都市基盤整備、地域の活性化、等々全て、やさしさと強さが必要です。おざわ良央県議の持ち前の“まっすぐに 誠実に”の資質がますます求められます。

東奔西走、活動範囲もますます幅広くなっております。おざわ県議にとっては、皆様のご理解とお力添えが大きな力です。今後とも一層のあたたかなご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

### おざわ県議 現在の主な役職

- 県議会防災警察常任委員会 委員長
- 自民党神奈川県議団 副団長
- 自民党神奈川県支部連合会 副幹事長
- 自民党神奈川県連小田原支部 支部長

## おざわ良央を囲む 納涼の夕べ

去る7月、コロナ禍で開催できずにいた「納涼の夕べ」を開催。後援会会員皆様とおざわ県議との久しぶりのうちとけたふれあいの場となりました。

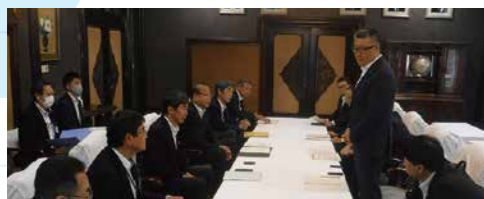


# 『県西地域活性化プロジェクト』 次期(第3期)改正素案発表!

神奈川県は総合計画で県内を5つの地域政策圏に分け、それぞれ特色ある地域づくりを推進しています。

去る11月に、第3期目(令和6～8年度)になる地域圏づくりの指標『県西地域活性化プロジェクト』の改定素案が発表されました。

プロジェクトの方向性として、県西での“心地よいくらし”を目指す、として移住、定住の更なる促進、そのための関係人口や周遊促進などによる交流人口増加を図るとし、くらしを「住む」「働く・楽しむ」「育む・学ぶ」「つながる」の4分野に分け、それぞれ具体的な取組みを掲げ、今後の3年間で+500人の目標を掲げ、県西地域2市8町の人口の社会増を達成することとしております。



県と小田原市との会談で挨拶

具体的には、次の12プロジェクトに取組みます。

- ① 移住・定住の更なる促進
- ② 未病改善の拠点活用・実践の促進
- ③ 持続可能な循環型の地域づくり
- ④ 多様な働き方ができる地域づくり
- ⑤ 地域の魅力を生かした仕事の創出
- ⑥ くらしを支える仕事と産業の基盤づくり
- ⑦ 地域のオンリーワンの魅力の活用・発信
- ⑧ 次の世代につながる環境整備
- ⑨ 地域資源を活用した多様な学びの提供
- ⑩ 人のつながりを生かした交流の推進への対応
- ⑪ 移動の利便性向上・周遊促進による地域のつながり強化
- ⑫ 交通ネットワークの整備・活用の推進



令和6年から3年間の計画期間で、県知事を会長とし、県西2市8町、団体、企業等の関係諸団体による「県西地域活性化推進協議会」のもと、地域が連携し、協力して、プロジェクトの推進と圏域全体の活性化を図ることとします。

令和5年度中に、改定素案に対するパブリックコメントを実施、続いてこれら意見を反映させた改定案を協議会で審議し、令和6年3月末に改訂版プロジェクトが決まることになります。



経済諸団体 講演会 講師 公益社団法人 土木学会関東支部 山崎仁先生  
選奨土木遺産選考委員

## 関東大震災からの小田原の復興

11月21日、おざわ良央を囲む「4フォーラム」共催の講演会を開催。大正12年の関東大震災で大災害を被った小田原の、困難を極めた復興の歴史をお話いただきました。

講師は「土木学会」の土木遺産選考委員、山崎仁先生。長い間のご研究の成果を拝聴し、小田原がどういう過程を経て現在あるのか、あらためて郷土を見つめ直す良い機会となりました。

「帝都再建」と呼ばれた関東大震災の復興は、地震発生の大正12年9月1日の直後の9月27日には「帝都復興院」が設立され、被災各地では、地方自治体と地域有力者層が主体の「復興会」による復興事業として始められた。

「小田原復興会」は大正12年10月24日に、神奈川県、小田原町と地域の名士、片岡永左衛門氏ら40名の委員により設立、復興事業が進められた。将来を見据えた都市計画と諸事業は、現在の小田原の市街地形成の骨格ともなっている。



市街地被災の状況



小田原駅の被災



自糸川橋梁被災

## 委員長報告

# 防災警察常任委員会



「委員長公務」は多忙です。特に警察本部の公式行事や消防の防災訓練等は、「いのちを守る」仕事に直結しているだけに気を抜くことはできません。写真は警察学校の卒業式、新しい警察官の誕生です。

おざわ良央県議が「委員長」に就任した「防災警察常任委員会」は、危機管理の総合調整、安全・安心まちづくり、災害対策及び消防、消費生活、そして警察の管理運営、生活安全、地域、刑事、交通及び警備警察、その他を担当、審査し、神奈川県の組織では、「くらし安全防災局」と「警察本部」などの仕事を所管とします。

いわば、県民の安全、安心に直結する大切な役割を担い、それだけにこの防災警察常任委員長という立場は、日常的に緊張感とリーダーシップが求められ、おざわ委員長への期待は非常に大きいものがあります。

令和5年9月県議会の防災警察常任委員会では、所管のくらし安全防災局と警察本部から、次のような報告事項があり、各委員から多岐にわたる質問がありました。(主要な項目のみ)

### 報告事項

1. 新たな総合計画骨子(案)
2. 神奈川県地域防災計画(地震・風水害等災害対策計画)の修正
3. 県有施設の避難訓練の実施状況
4. 電動キックボード等の新たなルールに係る取組み状況
5. 神奈川県犯罪被害者等支援推進計画の改定 等

### 委員会質問

- ◎高齢運転者等の支援の取組み
- ◎ストーカー事案への対応について
- ◎SNSに起因する少年の性被害防止
- ◎県警察での被害者支援について
- ◎道路交通法改正に伴う自転車及び電動キックボードの交通安全対策
- ◎大規模地震発生時の県警察の取組み
- ◎県犯罪被害者等支援推進計画の改定骨子案について
- ◎神奈川県地域防災計画の修正について
- ◎武力攻撃事態から県民を守る避難施設の充実について

以上の他、多岐にわたる質疑応答がありました。



## 進む! 基盤整備

### 小田原海岸防波堤工事

近年の異常気象による大型台風等の被害軽減対策は、小田原市沿岸部では喫緊の課題です。特に西湘バイパス小田原インター周辺の越波対策は、前面の急に深くなる海底地形の測量等も進め、工事方針を決め、2mもの堤防の嵩上げをする等の難事業の中、県当局と中日本高速道路(株)が協力し進められています。

### 久野新坂下トンネル着工

都市計画道路、城山多古線は、小田原市役所、市立病院前を通り、山北方面へ向う市内主要幹線道路です。久野から多古地内へのトンネル工事(200m)等が、令和7年度の供用目標のもと、いよいよ本格着工となりました。



### 小田原山北線 城山多古線 無電柱化へ

新坂下トンネルへ向う、小田原税務署前から市立病院前までの1.4km区間は、小田原市役所前を通る、いわば小田原の顔、とも言える道路ですが、この道路の電線共同溝整備事業の地域説明会が昨年11月に開催。無電柱化が実現すると、この地域のスッキリした景観への変貌が期待されます。

